

FNIRSI

LCR-P1

トランジスタ・電子部品テスター 日本語取扱説明書（参考訳）



ご使用前に安全上の注意を必ずお読みください。

翻訳・編集：泰宕商事株式会社

参考訳 v1 / 2026-10-12

参照原本：LCR-P1 Transistor Tester、中国語本文1～9・英語本文10～19ページ。原本表紙に版番号なし。

本書について

本書はメーカー原本をもとに、操作・仕様・安全上の注意を日本語で翻訳・整理した参考訳です。メーカー公式の日本語版ではありません。画面の文言、仕様、付属品が異なる場合は、実機の型番・ハードウェア版と対応するメーカー原本を確認してください。

メーカー原本の操作・仕様・安全注意を日本語で再構成した参考訳です。

構成

1. 安全・測定前の注意
2. 概要・各部・基本操作
3. 二端子・三端子部品の測定
4. ツェナー・赤外線解読
5. 基本・半導体仕様
6. 受動部品・電池・赤外線仕様
7. 更新・メーカー情報

1. 安全・測定前の注意

- ・使用前に本書と原本を読み、指定手順で使します。可燃性・爆発性環境では使しないでください。廃機器・廃電池は家庭ごみに混ぜず、地域の規則に従って処分します。
- ・コンデンサーは測定前に手動で放電してください。原本は未放電の部品を挿入してロックした瞬間に機器側で放電して火花が生じることがあると説明しますが、この機能は放電忘れへの保護であり、通常の放電手順の代わりではありません。
- ・非測定中は1-2-3ソケットが導通状態のため、バッテリーを直接挿入しないでください。
- ・測定範囲外の部品は、種類を誤って識別する場合があります。自動判別だけで全特性・品質を保証しません。

バッテリー測定の手順は要確認

原本の二端子部品手順にバッテリーも列記される一方、注意章は非測定時の直接挿入を禁止します。安全な接続タイミング・接続方法は明記されていないため、メーカーの具体的な案内を確認するまで電池を直接挿入しないでください。

2. 概要・各部・基本操作

LCR-P1はトランジスタ、ダイオード、FETなどの半導体と受動部品を測るテスターです。部品の種類、端子配列、複数パラメーターを画面に表示します。すべての部品を識別できる保証ではありません。

各部	用途
Type-C・充電表示	充電／データ通信。5V／1A。
画面	部品種別、端子配列、測定値。
モード切替スイッチ	上へ切り替えると赤外線解読モード。
TEST	電源オフ時に押して起動・測定画面へ。測定開始。非測定画面で長押しすると終了。
Zener（高電圧キー）	ツェナーダイオード測定へ。ファームウェア更新の組合せキー。
赤外線受信部	NEC方式のリモコン信号を受信。
ロック式ソケット	1-2-3：一般の部品測定。K-A-A：ツェナーダイオード測定。

3. 二端子・三端子部品の測定

電源オフ時にTESTを押して起動します。コンデンサーの放電を済ませたうえで、抵抗・容量・インダクタンス・ダイオードなどの二端子部品を、異なる番号の穴へ入れます。組合せは1と3、1と2、2と3です。ロックレバーを下げ、TESTを押して測定します。完了すると測定値と端子配列が表示されます。

トランジスタ、MOSFETなどの三端子部品は、それぞれの端子を番号1、2、3の穴へ入れ、レバーでロックしてTESTを押します。測定完了後にパラメーターと端子配列を表示します。

原本の例はバッテリーも二端子部品に含めますが、非測定時に挿入する危険が明示されています。バッテリーは第1章の未解決事項を先に確認してください。

終了は非測定画面でTESTを長押しします。測定中の長押し終了は原本に記載されていません。

4. ツェナー・赤外線解読

Zenerキーを押してツェナーダイオードモードへ入ります。アノードをA、カソードをKの穴へ接続し、レバーでロック、TESTを押して測定します。逆向きの場合は逆接続の表示があると原本に記載されています。

赤外線：モード切替スイッチを上へ動かします。リモコンを本機の赤外線受信部へ向けて送信すると、自動解読し、コードと波形を表示します。対応はNECプロトコルです。全リモコン・赤外線方式の互換性は保証されません。

表示コードの呼称に差があります

仕様表はユーザーコード・データコード、操作章はアドレスコード・ユーザーコードと記載します。原本の呼称差として記録し、実画面・信号仕様で確認してください。

5. 基本・半導体仕様

項目	原本の値
画面	1.44インチ
電池	300mAhリチウム電池
充電	Type-C、5V／1A
寸法	71×87×28mm
部品・範囲	表示パラメーター
トランジスタ：10< β <600	hfe、Ube、Ic／Ie、Iceo／Ices、Uf。
ダイオード：順方向降下<4.5V	順方向降下、接合容量、逆漏れ電流。
ツェナー：1-2-3、0.01～4.5V	順方向降下、逆方向降伏電圧。
ツェナー：K-A-A、0.01～32V	逆方向降伏電圧。
JFET	Cg、VgsでのId、保護ダイオードUf。
IGBT	VgsでのId、保護ダイオードUf。
MOSFET（原本MIOSTET）	Vt、Cg、Rds、保護ダイオードUf。
SCR／双方向サイリスター	オン電圧<5V、ゲートトリガー電流<6mA。ゲート電圧。

原本表記の整理
原本のMIOSTET表記は操作章のMOS管／MOSFETと測定項目を照合し、MOSFETとして示します。Vlossは原本の名称を保持し、ESRやDと同じ値として読み替えません。測定精度・テスト電流・環境条件の一覧は原本に明記されていません。

6. 受動部品・電池・赤外線仕様

部品	範囲・内容
コンデンサー	25pF～100mF。容量、Vloss（原本は損失係数）、ESR。
抵抗	0.01Ω～50MΩ。抵抗値。
インダクタンス	10～1000μH。インダクタンス、直流抵抗。
バッテリー	0.1～4.5V。電圧、極性。ただし安全な接続手順は未解決。
赤外線	NEC方式。コード、赤外線波形。

重量、充電時間、稼働時間、動作温湿度、校正手順、各表示の分解能・精度は参照原本に明記されていません。型番・測定範囲の近い別製品の値で補いません。

7. 更新・メーカー情報

電源オフの状態ではZenerキー（高電圧キー）を押し続け、続けてTEST（電源キー）を長押しして更新画面へ入ります。Type-CデータケーブルでPCへ接続し、更新ツールでファームウェアと現在の機器のCOMポートを選択し、「Start Upgrade」を押します。成功後、本機は自動再起動します。

他機種 of 更新方法と区別

本機の原本はCOMポートを選ぶ更新ツール方式です。仮想USBドライブへ単にコピーする方式を流用しません。対応公式ツール・ファームウェア・OSを確認し、更新中は給電を切らないでください。

メーカー：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.。原本住所：深圳市龍華区大浪街道・偉華達工業園C棟西側（中国語は8階）。0755-28020752、www.fnirsi.cn、business@fnirsi.com、英語service@fnirsi.com／中国語support@fnirsi.com。中国語原本のSJ/T 10333-1993記載は、日本の認証を確認したものではありません。

英語原本は問い合わせ時の追加6か月保証・コミュニティ参加を案内しますが、現在の地域・適用条件を確認していません。メーカーの案内として扱い、本参考訳によって泰宕商事の保証や特典を新たに約束するものではありません。

参照資料とお問い合わせ

参照原本：LCR-P1 Transistor Tester、中国語本文1～9・英語本文10～19ページ。原本表紙に版番号なし。

原本の製造元：Shenzhen FNIRSI Technology Co., Ltd.

メーカー資料：<https://taigo-shoji.co.jp/manuals/fnirsi/lcr-p1-multi-12bfe7a36699.pdf>

製品・相談窓口：taigo-shoji.co.jp

お問い合わせ：support@taigo-shoji.co.jp

保証・初期不良対応は購入先の案内をご確認ください。原本にあるメーカー独自の保証延長、販売条件、広告表現は、泰宥商事の保証条件として転記していません。

原本との対応

原本の章・ページ	本書での扱い
英語10～11ページ	使用注意、概要、全各部。
12～13ページ	基本・全部品の範囲と測定パラメーター。
14～16ページ	起動、二端子・三端子・ツェナー、赤外線。
17～19ページ	COM方式更新、放電・電池挿入の注意、メーカー情報。
中国語1～9ページ	図・MOSFET表記、放電と電池注意を照合。